



授業の土台

自己評価

- | | | |
|---|---|---------|
| 1 | 児童生徒の実態を把握し、子供の視点に立って授業の準備をしている。 | 4・3・2・1 |
| 2 | 共感的な人間関係の中で、一人一人が考えを出し合い、学び合うことができるような雰囲気づくりをしている。 | 4・3・2・1 |
| 3 | 児童生徒に寄り添った見届け、称賛、励ましなどを行い、 自己肯定感 を高める支援を行っている。 | 4・3・2・1 |
| 4 | 主体的・対話的で深い学びのために、教材や教具を工夫している。(※ICT等の活用・各種アプリソフトの活用) | 4・3・2・1 |

授業の基本形

- | | | |
|----|--|---------|
| 5 | 学びへの 必要感 を高め、本時で何を学習するかが具体的に分かる「 めあて 」を提示している。 | 4・3・2・1 |
| 6 | 課題の解決方法や結果、作業手順、時間配分など、「 見通し 」を児童生徒にもたせている。 | 4・3・2・1 |
| 7 | 児童生徒が自分の考えをもつために、各教科の特質に応じた「 言語活動 」を取り入れた時間を設定している。 | 4・3・2・1 |
| 8 | 学習形態や学習計画などを工夫し、多様な考えに触れ、考えが深まる「 学び合い 」を設定している。 | 4・3・2・1 |
| 9 | 何を学んだのか整理し、めあてに正対した「 まとめ 」を行っている。 | 4・3・2・1 |
| 10 | 「 振り返り 」を行い、学びの自覚や 達成感 、次時への意欲付けなどをもたせている。 | 4・3・2・1 |



【学級経営の視点】

- 教師としてのマナー
(身だしなみ・言葉遣い・開始と終了の時間)
- 学習規律や基本的なルール
(学習の準備・机上の整理・発言の仕方・話の聞き方)

【指導技術の視点】

- 学習の流れが分かる板書の工夫
- 話し方の工夫 (言葉遣い・間・スピード・大きさ・抑揚)
- 学習のテンポ
- 指導と評価の一体化
- 教授と活動のバランス
- 個に応じた支援